

科目名称(Course Title)				担当教員 (Instructor)	
キャリアデザイン I				江上 直樹 / 佐藤 充	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2 単位	2 年次	講義	無	科目等履修 ・ 聴講
授業の概要(Course Description)					
<p>「キャリア」とは、もともと中世ラテン語で「車道」を意味する言葉であるが、そこから人の行路や足跡、経歴、遍歴なども意味する言葉となった。そして、現在においては「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」（中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」）を意味する言葉として使用されている。</p> <p>本講義では、こうしたキャリア概念をふまえ、生涯を通じていかに社会とかかわりながら生活をしていくのか、また、その中でどのような職業観・勤労観を培い、自立した人間として生きていくのかということについて、昨今の社会情勢等について情報を提供しながら思索していく。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
昨今の社会情勢をふまえたうえで、自身のキャリア、とりわけ卒業後の進路について一定の方向性を示すことができる。					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	オリエンテーション：授業の進め方				
第 2 回	社会で求められる能力とその変遷①				
第 3 回	社会で求められる能力とその変遷②				
第 4 回	社会とのかかわり方①：自身のライフプラン				
第 5 回	社会とのかかわり方②：ワークライフバランス				
第 6 回	業界研究①：業界の種類とその変遷				
第 7 回	業界研究②：自身の関心のある業界は何か				
第 8 回	職業研究①：さまざまな職種				
第 9 回	職業研究②：自身の関心のある職種は何か				
第 10 回	社会における課題解決のあり方①				
第 11 回	社会における課題解決のあり方②				
第 12 回	社会における課題解決のあり方③				
第 13 回	職業からみるキャリア形成の事例①				
第 14 回	職業からみるキャリア形成の事例②				
第 15 回	まとめ				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
授業の目的の関係上、受講生がそれぞれのキャリアについて思索するにあたって、必要な資料を収集・整理する等の作業が求められる。具体的な内容については、授業内にて逐次提示する。					

成績評価の方法と基準(Grading)		
評価方法	(割合)	評価基準
授業への貢献度 期末レポート	(50%) (50%) ()	<p><授業への貢献度> 授業の性質上、自身のキャリアに対しての考え方を発表したり、提示された諸問題に対してグループディスカッションをするなど、能動的な参加が期待される。そのため、その参画度合いについても評価の対象とする。</p> <p><期末レポート> 自身のキャリアを検討するにあたって、十分な情報収集を行っているのか、また、それをもとにどのようなライフプランを考えているかを示すことができるかを問う内容となる。</p>
テキスト (Textbook)		<p>【書名】</p> <p>【著者】</p> <p>【出版社】</p> <p>【出版年】</p>
参考書・資料等 (Supplementary Reading)		授業中に適宜提示する。
備考 (Other Information)		次年度のキャリアデザインⅡをあわせて受講することが望ましい。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)		研究室（4号館4階5研究室）へはいつでも訪問してよいが、席を外している場合も多いので、面談等を希望する場合はメール等（egami-naoki@fukuchiyama.ac.jp）で事前に連絡するのが望ましい。